

アンインストール手順書

2025年4月1日

1.0版

Copyright (c) 2025 Santec Japan Corporation

本書の目的

内容

本書は、DATA SEALED SAFER サーバ、クライアントのアンインストールを効率的に行うことを目 的としています。

前提と対象者

DATA SEALED SAFER サーバの管理を行う方を対象としております。また、Windows の基本的な操 作方法を習得していることが前提です。

目次

1.	概要		3
	1.1	動作環境	3
	1.2	機能	3
	1.3	構成	4
2.	アン	インストール手順	5
	2.1	アンインストール作業前に	5
	2.2	DATA SEALED SAFER アンインストール	5
	2.3	定期処理削除	11
	2.4	クライアントからのアンインストール	14
3.	アブ	゚リケーションフォルダ	15

1. 概要

DATA SEALED SAFER は、以下ソフトウェアで構成されています。

- ・PostgreSQL サーバ
- ・DATA SEALED SAFER サーバ
- ・DATA SEALED SAFER マネージャクライアント
- ・DATA SEALED SAFER ユーザクライアント

DATA SEALED SAFER サーバをアンインストールする場合「DATA SEALED SAFER ユーザクライアン ト」以外の3種類のソフトウェアのアンインストールをする必要がありますが、「サーバ導入自動化ツ ール」を用いる事で、DATA SEALED SAFER サーバに必要な各ソフトウェアを簡単にアンインストー ルする事ができます。DATA SEALED SAFER ユーザクライアントのアンインストールはクライアント の Windows の機能を用いてアンインストールします。

以降では、アンインストール作業で使用する「サーバ導入自動化ツール」の概要および手順を記載しま す。

1.1 動作環境

サーバ導入自動化ツールは別紙「DATA SEALED SAFER 動作環境.pdf」に記載の環境で動作する事を確認しています。

※日本語環境の OS 以外では対応しておりませんので注意ください。

1.2 機能

サーバ導入自動化ツールでは以下の機能を提供します。

■DATA SEALED SAFER インストール (Installer.bat)

- 1. PostgreSQL / サーバのインストール
- 2. サーバの初期設定、マネージャクライアントのインストール

■DATA SEALED SAFER アンインストール (UnInstaller.bat)

1. データベースの削除、マネージャクライアントのアンインストール

2. PostgreSQL / サーバのアンインストール

■定期処理ツール設定(Tools.bat)

1. postgres パスワードファイル生成 [postgres.dat]

- 2. 鍵 DB バックアップタスク設定 [MainServerTask]
- 3. ログ自動ローテーションタスク設定 [LogRotateTask]
- 4. タスク設定削除

Copyright © 2025 Santec Japan Corporation

1.3 構成

サーバ導入自動化ツールは以下のフォルダ・ファイルで構成されています。

フォルダ/ファイル名	機能
DCInstaller	各種インストーラを配置します。
DCSInit	サーバ初期設定、マネージャクライアントのインストール及び csv フ
	ァイルのインポートを行います。
DCSSetup	PostgreSOL、サーバのインストールを行います。
PortOpen	例外ポート(TCP 9044)の設定を行います。
Task	定期処理の設定を行います。
Installer.bat	インストールを実行するバッチです。
	「DCSSetup」、「DCSInit」を呼び出し、各種インストールを行います。
SetConfig.bat	一時的に変数を保持するバッチです。
SetEnv.bat	一時的に変数を設定するバッチです。
SetUserConfig.bat	インストール設定が記述されています。
	※PostgreSQL、DATA SEALED SAFER のパスワード、接続先を変更
	する際にはこちらのバッチを編集してください。
Tools.bat	定期処理を設定するバッチです。
	「Task」を呼び出し、各種タスクをタスクスケジューラに登録します。
Uninstaller.bat	アンインストールを実行するバッチです。
	「DCSInit」、「DCSSetup」を呼び出し、各種アンインストールを行い
	ます。

※DATA SEALED SAFER は、固定の設定値で使用いただくため、SetUserConfig.bat 以外は修正せ ずにそのまま使用してください。

2. アンインストール手順

2.1 アンインストール作業前に

DATA SEALED SAFER をアンインストールすると、暗号化済みファイルの使用、復号化が出来なくなります。

必ずすべての暗号化済みファイルが復号化されていることを確認し、DATA SEALED SAFER の バックアップを取った後にアンインストールを行ってください。

※バックアップ手順は「DATA SEALED SAFER サーバセットアップ手順書 P21 3.1 バックア ップ」を参照してください。

2.2 DATA SEALED SAFER アンインストール

 サーバ導入自動化ツール内の「Uninstaller.bat」を右クリックし、「管理者として実行」を選択し ます。

ファイル ホーム 共有 表示 マ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		📙 💂 │ サーバ導入自動化ツール	-	· 🗆 🗙
 ◆ ◆ ↑ ▲ ▶ サーバ導入自動化ツール ◆ む サーバ導入自動化ツール ◆ む サーバ導入自動化ツール ◆ む サイズ Afi ▲ 前 ▲	ファイル	ホーム 共有 表示		~ ?
A前 聞(0) 編集(E) 印刷(P) サイズ ● 方 ● 方 ● 方 ● CSInit DCInstaller サイズ ● DCSInit 印刷(P) オルダー ● DCSSetup アクセスを許可する(G) パスのコピー(A) オルダー ● PortOpen パスのコピー(A) オルダー ● SetConfig.bat 逆る(N) パパッチ ファイル 4 KB ◎ SetConfig.bat ジョートカットの作成(S) 削除(D) パッチ ファイル 1 KB ◎ Tools.bat ジョートカットの作成(S) 削除(D) パッチ ファイル 5 KB ◎ Tools.bat ジョートカットの作成(S) 削除(D) ィバッチ ファイル 4 KB	$\leftarrow \rightarrow$	◇ ↑ 💄 > サーバ導入自動化ツール	▶ ひ サーバ導入自動化ツールの検索	Q
 ■ DCInstaller ■ DCInstaller ■ DCSInit ■ DCSSetup ■ Task ■ Task ■ SetConfig.bat ■ SetConfig.bat ■ SetUserConfig.bat ■ SetUserConfig.bat ■ SetUserConfig.bat ■ SetUserConfig.bat ■ SetUserConfig.bat ■ SetUserConfig.bat ■ DSSetUserConfig.bat ■ DSSetUserConfig.bat ■ SetUserConfig.bat ■ SetUserConfig.bat ■ DCSSetUse ■ DSSEtUserConfig.bat ■ DSSEtUserConfig.bat ■ SetUserConfig.bat ■ SetUserConfig.bat ■ DSSEtUserConfig.bat ■ DSSEtUserConfig.bat ■ SetUserConfig.bat ■ SetU	▼ [★] ^j ·	名前 ^	聞く(<u>O)</u> 編集(E)	サイズ
 ■ F ■ PortOpen ■ Task > ■ PC ● Installer.bat > ● PC ● Installer.bat ● SetEnv.bat ● SetEnv.bat ● SetUserConfig.bat ● Se	■ j ↓ ¢	 DCInstaller DCSInit DCSSetup 	印刷(P) 7オルダー	
 ▶ ○ A: Instanct.bat ▶ ○ A: SetConfig.bat ○ SetEnv.bat ○ SetUserConfig.bat ○ SetUserConfig.bat<td>🖆 F</td><td> PortOpen Task Installer bat </td><td>アクセスを許可する(G) パスのコピー(A) 以前のパージョンの復元(V)</td><td>A KR</td>	🖆 F	 PortOpen Task Installer bat 	アクセスを許可する(G) パスのコピー(A) 以前のパージョンの復元(V)	A KR
ショートカットの作成(S) ショートカットの作成(S) ショートカットの作成(S) ショートカットの作成(S) ● Uninstaller.bat ショートカットの作成(S) ショートカットの作成(S) ● ジョートカットの作成(S) ショートカットの作成(》 🤜 PC 》 🔮 차	SetLerConfig.bat	送る(N) 送る(N) 切り取り(D) コピー(C) メスパッチ ファイル に、パッチ ファイル	8 KB 1 KB 2 KB
11 個の項目 ゴロパティ(8)	11 個の項	Tools.bat	ショートカットの作成(S) /s バッチ ファイル 削除(D) 名前の変更(M) プロパラマ(R) パッチ ファイル	5 KB 4 KB

② 「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合は、「はい」を選択します。

メニュー画面が表示されますので「1」を入力し、「Enter」キーを押します。

C:¥Windows¥System32¥cmd.exe —		\times
	#######	^
# 【 DATA SEALED SAFER アンインストールメニュー 】	###	
# 1. データベース 削除 # フォージャクライマント マンインストール	#	
$ \begin{array}{c} \# \\ \# \\ \# \\ \# \end{array} 2. \operatorname{PostgreSQL} / \forall - \mathcal{N} \mathcal{P} \lor \mathcal{I} \lor \mathcal{I}$	##	
# # 実行する処理の番号を入力し、「Enter」を押してください。 # ※ 終了する場合は「E」を入力し、「Enter」を押してください。 #	####	
╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫╫	!##### #	
		~

③ 確認メッセージが表示されますので、処理番号を確認後、

「y」を入力し、「Enter」キーを押します。



アンインストールが始まります。



「正常終了しました。」メッセージを確認後、何かキーを押し、メニュー画面に戻ります。



⑤ 再度メニュー画面が表示されますので「2」を入力し、「Enter」キーを押します。



- ⑥ 確認メッセージが表示されますので、処理番号を確認後、
 - 「y」を入力し、「Enter」キーを押します。



アンインストールが開始されます。

C:¥Windows¥System32¥cmd.exe	_	\times
サーバのアンインストールを行っています...		~
PostgreSQLのアンインストールを行っています...		
-		
		\sim

⑦ 「正常終了しました。」メッセージを確認後、何かキーを押し、メニュー画面に戻ります。



⑧ 再度メニュー画面が表示されますので「E」を入力し、「Enter」キーを押します。



⑨ 何かキーを押します。コマンドプロントが終了します。



⑩ C ドライブにある「DATA SEALED SAFER」フォルダを削除します。

アンインストール作業は以上です。

2.3 定期処理削除

① サーバ導入自動化ツール内の「Tools.bat」を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。



② 「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合は、「はい」を選択します。



③ メニュー画面が表示されますので「4」を入力し、「Enter」キーを押します。



④ 確認メッセージが表示されますので、処理番号を確認後、

「y」を入力し、「Enter」キーを押します。



⑤ 「正常終了しました。」メッセージを確認後、何かキーを押し、メニュー画面に戻ります。

成功: スケジュール タスク "DATA SEALED SAFER¥LogRotateTask" は正しく削除されました。 成功: スケジュール タスク "DATA SEALED SAFER¥MainServerTask" は正しく削除されました。	<
	^
正常終了しました。 続行するには何かキーを押してください....	

⑥ 再度メニュー画面が表示されますので「E」を入力し、「Enter」キーを押します。



何かキーを押します。コマンドプロントが終了します。



定期処理の削除作業は以上です。

2.4 クライアントからのアンインストール

 DATA SEALED SAFER クライアントの自動起動を止めるため、以下のフォルダから ID ファイ ルを削除します。

C:¥Users¥(Windows のユーザ名)¥AppData¥Roaming¥Microsoft¥Windows¥Start Menu ¥Programs¥Startup

- ② 「Windows キー」-「設定」-「アプリ」-「インストールされているアプリ」をクリックし、「DATA SEALED SAFER UserClient(x64)」をアンインストールします。
- ③ 再起動を要求されたらクライアントを再起動します。

クライアントアンインストール作業は以上です。

3. アプリケーションフォルダ

DATA SEALED SAFER フォルダ (C:¥DATA SEALED SAFER) について記載します。

パス	説明
C:¥DATA SEALED SAFER¥管理	管理者が利用するファイルが配置されます。
C:¥DATA SEALED SAFER¥log	インストール/アンインストール時の作業ログと設定値がファイルとして出力され
	ます。
	設定値のファイルにはインストール時のパスワード等が記載されています。構築
	後は削除可能です。
C:¥DATA SEALED SAFER¥task	定期処理の実行ファイルが配置されます。
C:¥DATA SEALED SAFER¥tool	サーバ復旧作業時に使用するツールが配置されます。
C:¥DATA SEALED SAFER¥key-dump	定期処理の「MainServerTask」により鍵 DB のバックアップファイルが出力されま
	す。

※「key-dump」フォルダはタスクスケジューラに登録した定期処理の初回実行時に生成されます。

本書に含まれるすべてのテキスト、図表は santec Japan 株式会社の独占的所有物であり、顧客の個人的かつ非営利目的での使用に供するものです。

santec Japan 株式会社からの文書による承諾なしに、本内容のいかなる部分をも、いかようにも、修 正し、複写し、配布し、送信し、展示し、実演し、再生し、出版し、ライセンスし、類似物を製作 し、譲渡し、使用もしくは販売することはできません。

本書の情報は、通告なしに変更される場合があり、santec Japan 株式会社の側に責任あるいは説明義務が生じることはありません。

その他記載の会社名や商品名は、それぞれ各社・各団体の商標または登録商標です。

Copyright © 2025 Santec Japan Corporation